

## 第 121 回・日商簿記検定試験 3 級 第 1 問 仕訳問題類題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	受取手形	売掛金
売買目的有価証券	未収金	前払金	従業員立替金
仮払金	支払手形	買掛金	当座借越
所得税預り金	未払金	前受金	仮受金
売上	受取手数料	受取利息	有価証券売却益
仕入	交通費	給料	発送費
手形売却損	有価証券売却損	消耗品費	雑費

- 得意先渡辺商店から送金小切手 200,000 円が送られてきたが、その内容は現時点で不明である。
- 従業員への給料の支払いにあたって、給料総額 600,000 円のうち、先に立替払いしていた従業員の生命保険料 40,000 円と、所得税の源泉徴収分 60,000 円を差し引き、残額を現金で支給した。
- 仕入先藤田商店にかねて注文しておいた商品 500,000 円を引き取った。注文時に支払った手付金 100,000 円を差し引いた代金のうち、150,000 円については藤田商店振出し、宇野商店受取り、当店あての為替手形を呈示されたのでそれを引き受け、残額については藤田商店あての約束手形を振り出して支払った。
- 小口現金係から、次のような支払の報告を受けていたため、ただちに小切手を振り出して資金を補給した。なお、本店では、定額資金前渡制度（インプレストシステム）により、小口現金係から毎週金曜日に一週間の支払報告を受け、これにもとづいて資金を補給している。

交通費：9,000 円

消耗品費：7,000 円

雑費：4,000 円

5. 売買を目的として額面 2,000,000 円の堀江株式会社社債を額面 100 円につき 97.50 円で購入し、代金は購入手数料 10,000 円とともに小切手を振り出して支払った。なお、当座預金の残高は、1,500,000 円であるが、借越限度額 500,000 円の当座借越契約を結んでいる。